

①シンボルマーク(GHS対応)

シンボルマーク	有害性情報と危険有害性クラス
	<p>空気、熱や火花にさらされると発火する恐れがある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃性／引火性ガス ・可燃性／引火性エアゾール ・引火性液体 ・可燃性固体 ・自己反応性化学品 ・自然発火性液体／固体 ・自己発熱性化学品 ・水反応可燃性化学品 ・有機過酸化物
	<p>他の物質の燃焼を助長する恐れがある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支燃性／酸化性ガス ・酸化性液体／固体
	<p>熱や火花にさらされると爆発する恐れがある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火薬類 ・自己反応性化学品 ・有機過酸化物
	<p>接触した金属または皮膚等を損傷させる恐れがある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金属腐食性物質 ・皮膚腐食性／刺激性 ・眼に対する重篤な損傷／眼刺激性
	<p>高圧ガスを表しており、ガスが圧縮または液化されて充填されている 熱したりすると膨張して爆発する可能性がある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧ガス
	<p>飲んだり、触ったり、吸ったりすると急性的な健康被害が生じ、死にいたる場合がある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性
	<p>急性毒性、皮膚刺激性、眼刺激性、皮膚感作性、気道刺激性、麻酔作用の健康有害性がある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・急性毒性 ・皮膚腐食性／刺激性 ・眼に対する重篤な損傷／眼刺激性 ・皮膚感作性 ・特定標的臓器／全身毒性
	<p>環境に放出すると水生環境(水生生物及びその生態系)に悪影響を及ぼす場合がある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水生環境有害性
	<p>短期または長期に飲んだり、触ったり、吸ったりすると健康被害を引き起こす恐れがある (危険有害性クラス)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼吸器感作性 ・生殖細胞変異原性 ・発がん性 ・生殖毒性 ・特定標的臓器／全身毒性 ・吸引性呼吸器有害性

②注意喚起語

注意喚起語は、危険有害性の程度に応じて「危険」、「警告」の2種類が表示されます。「危険」は「警告」に比べ、より危険有害性のレベルが高い場合に用いられます。危険有害性が低い場合には、注意喚起語が記載されないこともあります。

③危険有害性情報

危険有害性情報は、危険有害性の性質とその程度を示すもので、GHS文書によって文言が決められています。

④注意書き

注意書きは、当該製品を安全に使用するための注意事項を示すもので、GHS文書に順じて記載しています。